

●横浜市次世代太陽光発電装置視察(2025-3-24)

横浜市では、2030 年の温室効果ガス排出 50%削減、2050 年の「Zero Carbon Yokohama」の実現に向けて、市民、事業者をはじめ、関係団体や国等の多様な主体と連携しながら、地球温暖化対策実行計画に基づき、取組を強化・加速しています。

その一環として企業の技術開発を後押しし、併せて今後の製品化、実用化を見据え、多くの市民や来訪者に新技術である次世代型太陽電池を PR・広報するため、公共施設を活用した実証実験を行っています。

今回実証試験中の3か所について視察及び横浜市の推進担当者とのデスクッションを行いました。尚、視察に当り参加者には学習資料を配布し次世代太陽電池、ペロブスカイト太陽電池の動向について事前学習を行いました。